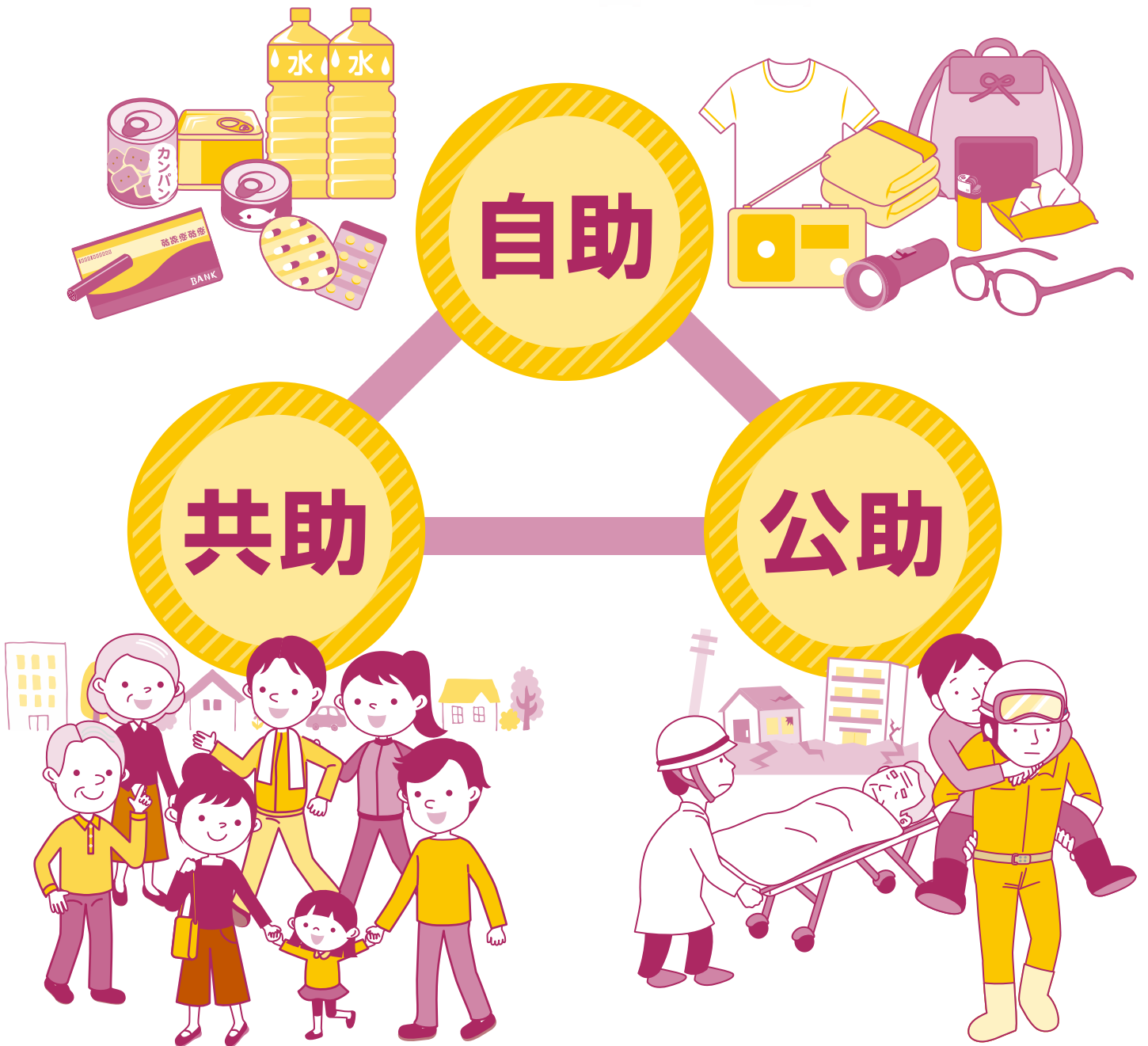


- 「防災に女性の視点を」
～気づけば変わる!? 避難所づくりのツボ～
- 編集後記
- インフォメーション
- 防災 わたしの覚悟
- 知る努力・・・「ふじさわ防災ナビ」とは?
- 「いじめ、『助けて』といえるために ～こころの居場所ってなんだろう?～」を聴いて
- ひとりぼっちで悩んでいませんか? ～藤沢市いじめ相談ホットライン&いじめ相談メール～

かがやけ地球



防災に女性の視点を

近年、毎年のように地震やゲリラ豪雨による水害が発生し、被災者が避難所生活を余儀なくされている。

災害時に生き残ることはもちろん大切だが、大変なのは生きながらえた後。今回は、筆者が有識者の講演や本、ボランティア活動から学んだことをまとめた。

「防災に女性の視点を」という言葉があるが、これは女性を守るための言葉ではない。

昨今でも、家事、育児、介護を担っているのが主に女性である。つまり、高齢者、子ども等、いわゆる社会的弱者の声を代弁できる人は女性に多いのだ。

これは人権問題という話の前に、知識や経験の差がおおいに関係している。

例えば、生きていくに欠かせない排泄について考えてみる。

赤ん坊のオムツ交換はもちろんのこと、高齢者を例に考えても、紙パンツを使っている人は、避難所でオムツを変えなくてはならない。赤ん坊の場合なら「その場で替える」と言えたとしても、成人相手にそう言う人はなかなかいないだろう。

そうしたスペースを確保できるかは、避難所を運営する人の手腕にかかっている。一度場所を決めてしまえば動かすのは難しいので、避難所が設営された段階で、そうした場所を確保する必要がある。

～気づけば変わる!? 避難所づくりのツボ～



トイレについても考慮すべきことがある。洋式に慣れてしまった子どもたちや、立ち座りが困難な高齢者には、和式で用をたせないということも、恐ろしくなかなか気づけない。

また、様々な人との共同生活になるため、夜泣きや足音、いびきなどでクレームが出て、避難所生活がいつそう辛くなったという事例もある。避難したばかりの頃は「お互い様」と耐えられたとしても、我慢には限界がある。被災というストレスに加え、避難所生活で受けるストレス

は相当なものだ。

そのため、同じような環境にある人ごとに、別室を確保したり、エリアを分けることが望ましいと言われているが、混乱した状況下でこの判断を下すには、周りの理解と決断力が必要になる。

また、女性自身にも配慮が必要だ。性的いたずら、着替えや授乳場所の確保、生理用品の配給方法など、過去の災害で挙げられた課題は多い。

そして今述べた「女性、子ども、高齢者」は、避難所に長くいることになる可能性が高い。ライフラインが回復すると、男性は働きに出ることも多いからだ。

運営者の各種の配慮が、その後の避難所生活の質を決める。運営側に女性が入れるかどうかは切実な問題であることを、お分かりいただけるだろうか。



もちろん、必ずしも女性である必要はないであろうし、女性であればよい、というわけでもないだろう。様々な人の立場に立って考えられる人間が運営者になるのが望ましい。しかし冒頭で述べたとおり、現在の日本社会において、子育てや介護、性差について、男女で理解が偏っているのは明らかだ。

さらに、家庭を女性に頼りきりな男性もまだ一定数いることを考えれば、「防災に女性の視点を」とは、社会的弱者のみならずすべての人にとって重要な標語なのではないだろうか。

災害時は、社会のひずみが色濃く出る。日ごろ隠れている差別意識が表出し、ストレスによって他者への配慮が薄れる。

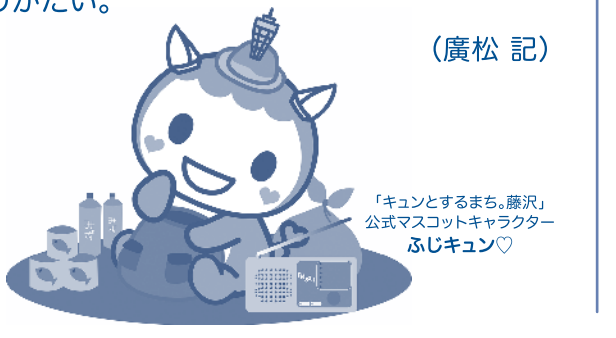
だからこそ、理想をいえば、災害が発生する前か

ら社会のバランスを整えることが重要とも言える。

「防災に女性の視点を」、「社会における女性活躍の促進」、それは女性の人権問題だけではなく、社会の様々な人の生活を、より豊かに、安全にしていけるのではないかと。

私が男女共同参画の重要性を最も強く感じたのも、上述した防災の話を通してだった。これを読んだ方が少しでも、改めてその重要性を感じてくださるとありがたい。

(廣松 記)



「キュンとすまる。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

子どもをいじめから守る啓発講演会 2018年6月30日

北村 年子氏



いじめ、助けてといえるために

～ここ3の居場所ってなんだろ?～

いじめ行動はどのように始まるんだろう、それがひとり対周りのほぼ全員となることが多いのはなぜだろう、疑問だらけである。同じ場所・同じ空気の中にいて初めて分かるという、そんな多くの子どもたちに立ち会ってこられた講師の話をよく聴かねばと背筋を伸ばした。全てに聴きやすく話していただいたが、特に心に刻まれたことと、自己尊重トレーニングで癒されたことなどご報告したい。

1 子どものいじめは、おとなの写し鏡である。

世界的な調査でも「見知らぬ困っている人を助けた経験」が日本は最も低かったという。家庭でも、学校、地域、社会で、親やおとなの助け合う姿が足りず、その姿が子ども達の意識や状況にも反映されている。故に、ただ、上から目線で説教や注意をしても子どもの心には響かない。

我々おとなの社会で大小思い当たる節がある。種々の見方があるだろうが、おとな間でもっともっと助け合う姿を示す必要がありそうだ。

2 いじめたくなるのは「自分がつらい時」である。

「自分の(心の)居場所がない」「親から責められるばかり」「失敗を許してもらえない」子どもがいじめ行動へと進みやすい。

いじめの四層構造。
被害者、加害者(中心になる子と同調・追従する子)、観衆(はやしたてたり面白がったり、いじめ助長)、傍観者(見てみぬふり、無関心、暗黙の了解と加害者が解釈)というように、結局周りの全員が加害者となってしまふ。

3 いじめを必要としない「心」の育成へ。

愛され体験(受け入れてもらった体験)があればこそ、愛する(受け入れる)こともできる。同様に、自分自身の失敗や欠点を許すことが、人の弱さを受け入れ、不完全を許し、尊重することにつながる。そのために、まず不完全な自分を受け入れ・自分を肯定し・自分にありがとう～感謝する、など「自尊感情」が大切。それが心の居場所につながり、いじめ行動へ向かわない心も育つ。

自己尊重トレーニングで自分への“ありがとうワーク”をやってみた。講師の指導で、目を閉じ、自分のからだの痛いところや気になるところ(膝・腕・胸・お腹 等々)を順に“ありがとう”と心で言いながらさすってみた。何ともいえない安堵感、今こうしていられる有り難さ、人を楽に受け入れられそうな感覚も。

人は、ほめられる(上手だね、頑張ったね、など)よりも、“ありがとう”と言われる方が嬉しい。

元来私は自然への畏敬・共生の意識があらゆる面で、いじめを防ぐ意味でも大切だと考えているが、今回はもっと直接的・具体的な発生要因視点で、いじめの大きな要因とそれに基づいた対策について、とても貴重な話を聴くことが出来た。(前田 記)

～藤沢市 いじめ相談ホットライン & いじめ相談メール～

藤沢市では、市内の小学生、中学生、特別支援学校の児童生徒が受けている「いじめ」や他の子どもが受けている「いじめ」の解決を図るために電話での相談、およびメールにて相談を受け付けています。この取組について、教育指導課にお話しをうかがいました。

- ご相談ください
- 藤沢市教育委員会
いじめ相談ホットライン
電話0466-25-2500
9時～17時
(土曜、日曜・祝日、年末年始は除く)
 - 藤沢市いじめ相談メール
藤沢市のホームページからアクセス

ひとりぼっちで悩んでいませんか?

Q 「いじめ相談メール」「いじめ相談ホットライン」を開始したのはいつ頃ですか?

A メール、ホットライン共に平成25年8月20日に開設しました。

Q 相談をされる方は、どのような方が多いですか?

A 本人と保護者のほかに、いじめを目撃した人からの話もありました。

Q 相談の多い時期などありますか? またそれはどうしてだと考えますか?

A 年間を通して相談はいただきますが、年度初めや終わりが比較的多いです。児童・生徒の不安感が募る時期であるからかと思えます。

Q いじめの相談を受けたあと、教育委員会ではフォローなどされていますか?

A ケースによって対応はそれぞれ異なりますが、相談者の気持ちに寄り添った対応をしています。

Q 実際には、いじめられている本人は、相談しにくい状況です。周囲の人間(大人)ができることは何でしょうか?

A 普段から、良いことも悪いことも含めて「この人と話したい」と子どもが感じられる関係を作ることが大切ではないでしょうか? 一方、様々なことに気づくべき大人自身に余裕がないと感じることもあります。

いじめを受けている子どもの中には、「いじめられている」という現状を認められず、我慢して親や先生に打ち明けられない場合も多くあります。悩みを打ち明けること自体、いじめを受けている子どもには、相当なエネルギーを要します。悩みを打ち明けることができない子どもの表情や言動から、周囲が異変に気が付いてあげること。そこから「相談」が始まっていると思います。そして、親や先生だけでなく、彼らの周りにふだんから他愛もない話ができる大人がいれば、彼らのSOSに気づいてあげられるかもしれません。

(佐野 記)

防災 わたしの覚悟



日本列島は、脆弱な地形の災害大国である。国土の周辺は海に囲まれ、陸地面積の70%が山地と山麓の火山国。その上、4つのプレートが列島周辺にある。日々の平穏な生活が奇跡のようだ。年に何度も来襲する台風の被害。防災は、過去の体験からの学習と、科学の進歩で情報が進み、防災対応のあり方も学び、不安材料が多少なりとも減りつつある。が、地震はどうだ。2011年3月11日のテレビ中継の映像。あのときの恐怖は、未だに記憶に生々しい。災害が起こる都度、防災グッズを新たに購入し、藤沢市の防災ラジオを購入し、ハザードマップや避難非常袋を再三確認。自治会の防災訓練に参加し、藤沢市企画の講演会に参加。さて、それでも不安はつきない。

私は独り暮らしの高齢者である。もう充分生きたのだが、それでも、その時にどう対処するかと日々の不安は拭えない。

幸い、住居は、耐震、耐火性能を有する鉄筋コンクリート構造の9階建、9階。豪雨や津波の心配はない。地震は、震度7迄大丈夫と言うが、発生時が夜間なら、

エレベーターは停止、暗い階段を降りるしかない。グラグラ揺れる中を果たして、平常心で歩くことが可能かどうかと自問する。自信は皆無だ。集合住宅の自治会活動は充実している。隣人間のコミュニケーションも日頃より怠りない。年一度だが、防災訓練時には、『安否確認』と表して、担当者が各戸を一軒一軒確認して回る訓練もしている。自然災害に対して脆弱な国土のこの国に住み続けることへの心構えを、私は覚悟、準備しておくことにした。家具類転倒による下敷きにならないように、自己責任においての対策は、怠らないこと。

その上で、勝手に動き回らない、動かない、移動しない。避難所生活に耐える自信がないから。この国は災害大国だが、自然豊かゆえ、四季折々有り余るほどの恩恵をもたらしてくれている。今日まで、どれほどの感動を得た事だろうか。豊かな自然への喜びと多発する災害の恐怖は表裏。この国、この地に住み続けていく私の防災覚悟は日々の暮らしの中にある。

(山口 記)

知る努力

「ふじさわ防災ナビ」とは？

今年7月、西日本を中心に大きな被害をもたらした台風7号及び梅雨前線等による集中豪雨では、岡山県倉敷市真備町など住宅地が大規模に浸水しました。報道にもあるとおり、危険を知らせる洪水ハザードマップは今回の被害とほぼ同じ浸水域を想定していたそうです。

私たちの住む藤沢においても自然災害による深刻な被害が予測されていますが、皆さんは防災についてどのくらい知っていますか？

情報は提供されるだけでは用をなすことができません。私たち一人ひとりの「知る努力」が、命と暮らしを助け、守ることに直結しています。

防災活動には「男女共同参画」はもちろんのこと、「老若」「多少」「単複」など多様な視点による意見が反映されなければなりません。そのためにはまず、地域の生活者としての意識と行動が不可欠です。

ふじさわ防災ナビ を知ろう

「ふじさわ防災ナビ」とは、平常時から災害発生時まで、防災・災害に関する情報を市民に向けてわかりやすく知らせるための様々な市のツールを総称したもの。自主防災活動・防災訓練といった自治会・町内会の活動から、各家庭の防災マップ作成や防災に関する知識と備えの促進に役立ちます。

知識を得ること・万が一に備えることはどちらも防災における要です。『ふじさわ防災ナビみんなの防災・知識と備え編』には、「一人ひとりの行動は小さいものかもしれませんが、みんなで取り組んでいくことにより、安全で安心して暮らしている藤沢にしていきたいと思います。」と記されています。とても小さな一歩ですが、まずは「知る努力」から始めませんか。

(鈴木 記)

- 猛暑と台風に悩まされた平成最後の夏が終わり、気が付けばもう秋。気候も気持ちも穏やかに過ごしていきたいです。(佐野)
- 猛暑の夏だったが春夏秋冬の魅力と何とかうまく付き合っただけでゆきたい。(前田)
- 夕方ウォーキングを始めた。血管が若返るとかで。蜩の声を聞きながら。猛暑よ、戻るなかれと仰ぎ見る。秋はそこまで来ている。(山口)
- 耳の遠くなった犬を連れ何年振りかでのみた花火。思っていたよりきれいで寂しい。(鈴木)
- 今夏は子が持ち帰る風邪に負けず乗り切れそう！滋養強壮薬の効果、恐るべしです。(廣松)

インフォメーション

審議会等への女性登用状況について

男女共同参画社会の実現には、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要です。「ふじさわ男女共同参画プラン」では、「審議会など、市政に対する女性の参画促進」を取り組むべき事業として定めています。今年度の調査結果は、次のとおりです。

調査結果

1 国の分類における審議会等の女性登用比率

- ◆ **目標登用比率 30.0%以上** (平成32年)
(国の第4次男女共同参画基本計画 成果目標)
- ◆ **平成30年4月1日現在の女性登用比率**
 - ・ 審議会等の対象数 **60機関** ※1を対象
 - ・ 女性登用比率 **28.9%** ※平成29年(31.1%)比 -2.2ポイント

2 市独自の分類における審議会等の女性登用比率

- ◆ **目標登用比率 50.0%以上** (平成32年度)
(ふじさわ男女共同参画プラン2020 成果指標)
- ◆ **平成30年4月1日現在の女性登用比率**
 - ・ 審議会等の対象数 **250機関** ※2を対象
 - ・ 女性登用比率 **41.0%** ※平成29年(41.5%)比 -0.5ポイント

3 調査対象

- ① 地方自治法による行政委員会等
(地方自治法第180条の5)
- ② 法律を根拠として設置する附属機関
(地方自治法第202条の3)
- ③ 条例により設置される附属機関
(地方自治法第202条の3) ※1
- ④ 要綱、要領等による協議会等
- ⑤ 上記に該当しない、会議・団体、
任意の会議、実行委員会等 ※2

レディオ湘南公式アプリができました

レディオ湘南の放送と藤沢市の情報をスマートフォンなどの端末機に配信する無料のアプリケーション
レディオ湘南 of using FM++

**無料
です!**

災害・緊急情報をより早く、より多くの方に伝えること、ラジオの難聴エリアの解消を目的とし、インターネットを利用して音声と文字情報をレディオ湘南より発信するものです。
情報はPUSH配信により、アラームと文字で自動受信します。
※情報の種類により文字情報のみのもあります。
平常時はレディオ湘南を聴くアプリとして利用することができます。



かがやけ地球は、市民の編集員さんの
企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 鈴木 悠子・山口 千鶴子
前田 英孝・佐野 美穂子・廣松 仁子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-24-5928

E-mail fj-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp

藤沢の有隣堂《ご案内》 <http://www.yurindo.co.jp/>

藤沢店 \ 0466-26-1411

JR・小田急江ノ島線「藤沢」駅南口直結「フジサワ名店ビル」2・3・4・5階

テラスモール湘南店 \ 0466-38-2121

JR「辻堂」駅北口直結「テラスモール湘南」4階

藤沢本町トリアージュ白旗店 \ 0466-50-7550

小田急江ノ島線「藤沢本町」駅から徒歩5分

- 神奈川・東京・千葉に52店舗
- 学校・公共施設・法人への商品納入
- オフィス用品の通販
- オフィス設計・家具
- 出版事業
- 図書館・地区センターの運営
- 音楽教室
- カルチャーセンター



広告デザイン・ウェブデザイン
有限会社 **アート稲元**

女性スタッフを中心とした
最新・斬新・良質な
クリエイティブワーク

〒251-0002
神奈川県藤沢市大鋸 1-9-3
TEL.0466-25-4019

<http://www.art-inamoto.co.jp/>



医療法人社団 藤順会
藤沢順天医院

神奈川県藤沢市鶴沼橋 1-17-11

Tel 0466-23-3211

人間ドック

定期健康診断

脳ドック

婦人科検診



<http://www.fujisawa-junten.or.jp>

天然ガスがひらく未来



次の世代の子どもたちのために、
いま、わたしたちが出来ること…
東京ガスは考えています。

天然ガスを使用した、効率的なエネルギーシステムの普及・拡大に努めています。また、環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

